

### 平成30年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	信越自然郷におけるウィンターアクティビティツーリズム促進事業
事業主体 (連絡先)	一般社団法人 信州いいやま観光局 (信越自然郷アクティビティセンター) 0269-62-7001
事業区分	特色ある観光地づくり、地域協働の推進に関する事業
事業タイプ	ソフト・ハード
総事業費	4,673,059 円 (うち支援金: 3,722,000 円)

#### 事業内容

長野県の山岳高原を生かした世界水準の滞在型観光地づくりとして、通年でのアウトドア観光に取組んでいるなかで、特に外国人を含む観光来訪者の多い冬季ウィンターアクティビティの情報発信や体験コンテンツの受入環境の整備を行った。

信越自然郷エリアの21エリア全38スキー場と連携し、国内有数の一大スキーエリアの魅力向上を目的に、積雪・天候・イベント等の情報発信をリアルタイムで提供する整備を実施した。また、スキー以外の冬季アクティビティの新たな観光コンテンツ創出として、ファミリーを中心とした体験イベントを開催し、地域特有の自然環境をいかしたツーリズムの促進事業を行った。



【新たな冬季アクティビティ雪ちやり(雪上自転車)を楽しむ様子】

#### 【目標・ねらい】

- ①アウトドアアクティビティを活用した広域的な観光による地域振興
- ②北信地域の協働での魅力の発見と情報発信を行う
- ③地域特有の観光コンテンツの創出と受入整備

#### 事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ①信越自然郷エリアの全38スキー場の情報を網羅したWEBサイト(日・英)を制作し広域エリア全体のメリットを活かした情報発信を実施した
- ②リアルタイムでの情報提供により、来訪者の利便性向上やエリア内の周遊を促進した。
- ③北信地域特有の「雪」を活用したアクティビティ体験の普及や体験ツアー商品としてのブラッシュアップを行い、スキー以外の滞在型コンテンツの創出につながった。

※自己評価【A】

#### 【理由】

予定通りに事業実施ができ、ウィンターアクティビティの発信や受入整備を実現し、北信エリアの特色を生かした魅力が向上した。

#### 今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

- ・本事業での取組みを継続し、当地域ならではの観光コンテンツの充実をはかる。
- ・スキー場との連携を強化しエリア全体のPRや広域的エリアでの周遊を促進する。
- ・信越自然郷エリアの山岳高原や河川の自然を生かした観光地づくり活動を継続して行う。
- ・地域の方々や関係事業者との連携強化し、観光消費額の増加をつうじた活性化へつなげる。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある